# 初級授業デザインの真髄にふれよう ~ 『できる日本語』を素材にした対話~

# 第1回公開ラボ開催にあたり

日本語教育が過渡期を迎え、日本語教師もまたその社会的価値を問われる時代です。私たちに何ができるのか。その応えは教室活動でかたちになります。だからこそ、対話を通してその応えをさがしたいと思います。対話、とは自分と他者の間にいまだ見えない価値を見出す創造的な営みです。私たちは開かれた場所で開かれた知へ、そして創造的な実践へたどりつきたくて、公開ラボを行います。第1回は、嶋田和子氏とともに、初級授業デザインの真髄へ迫ります。

深江 新太郎

【日時】 2012年9月9日(日)10時~13時

【場所】 愛和外語学院 (福岡市東区馬出1-15-37)

## 【内容】

発題者:深江 新太郎 妹川 幸代(ともに愛和外語学院)

題目①「パターンプラクティスのパターンを創ること」

題目②「カリキュラムを変えることと学校を創ること」



授業風景1(『できる日本語』第1課)

対話者:嶋田 和子氏

(アクラス日本語教育研究所,『できる日本語』監修者) 参加されたみなさま

【定員】 30名

【参加料】 無料



授業風景 2 (『できる日本語』第 11 課)

### 【参加条件】

今回は、次の①②のいずれかに該当する方の参加を募ります。

- ① 養成講座受講生(もしくは修了1年以内の方),日本語教育専攻の大学生・大学院生
- ② 勤務校において初級の教育カリキュラムを良くしたいと思っている主任の方

### 【申し込み、問い合わせ】

妹川 幸代 imokawa@aiwa.ne.jp

愛和外語学院 Tel (092) 632-6748 FAX(092) 632-8540

名前・所属・参加条件①②のどちらに該当するか・参加動機をメール内に記してください。

【締め切り】 2012年8月24日(金)